



# 新着おすすめ本



## 『「私らしく」働くこと』

自分らしく生きる「仕事のカタチ」のつくり方』

一田 憲子 著 (マイナビ出版)

366.38

IT

『暮らしのおへそ』(主婦と生活社)ライターが贈る、生き生きと働くためのヒント集。さまざまな世代の女性の仕事の話を集録。  
(「BOOK」データベースより)

## 『世界の一流から学んだ仕事の品格』

～次のステージに行くために必要なこと～』

植山 周一郎 著

(クロスメディア・パブリッシング)



159.4

UE

盛田昭夫とウォークマンを売り出し、リチャード・ブランソンの日本進出を手伝い、サッチャーをマネジメントした日本人が語る、ビジネスで差がつく教養の磨きかた。  
(「BOOK」データベースより)

## 『世界の現場で僕たちが学んだ「仕事の基本」』

沖本 慶一郎 他 著

(CCC メディアハウス)



329.3

SE

国連等の国際機関や NGO で勤務してきた若手実務家 17 名が、世界各地で仕事をすることの難しさや楽しさをストーリー形式で紹介。異なる国籍、人種、文化や習慣を持つ人々が集まる「世界の縮図」である組織で働くとはどういうこと? 自分自身のキャリアをどうつくっていくか? 語学力はどう磨いていった? など世界へ飛び出す若者が知りたい、身近な先輩たちの生の声を届ける。  
(「Amazon.co.jp」より)

今月は、いつもより多くの本をご紹介します。  
2016 年も読み始めは、図書館で!







# 『杉原千畝物語 —命のビザをありがとう』

杉原 幸子・杉原 弘樹 著  
(金の星社)

289.1  
SU

6000人のユダヤ人を救うために、心の命令に従った外交官、杉原千畝の生涯。感動のノンフィクション。  
(「BOOK」データベースより)



140.8  
MA

# 『マンガでやさしくわかる アドラー心理学』

岩井 俊憲 著  
(日本能率協会マネジメントセンター)



老舗洋菓子チェーンで念願のエリアマネジャーに抜擢されたものの、思うようにいかず悩む前島由香里28歳。そんな彼女の前に、ある日心理学者アドラーの幽霊が現れます。アドラー心理学を手ほどきし、さまざまなアドバイスやヒントを授けてくれるアドラー先生、由香里が一方的にライバル視する同期、年上の部下でもあるやり手店長など、さまざまな人達との交流を通じて由香里が成長する姿を描きます。自己啓発の祖、アルフレッド・アドラーの理論をストーリーで体験! × 解説で納得!

(「BOOK」データベースより)

公務員ってどんな仕事があるの? どうやったら試験に合格できるの?などの疑問に、現職の人事課長補佐が本音で答えます!  
(「Amazon.co.jp」より)

最新版! 続々登場!! 早い者勝ちですよー。就職・資格関係の本は、カウンター横の低書架にあります。





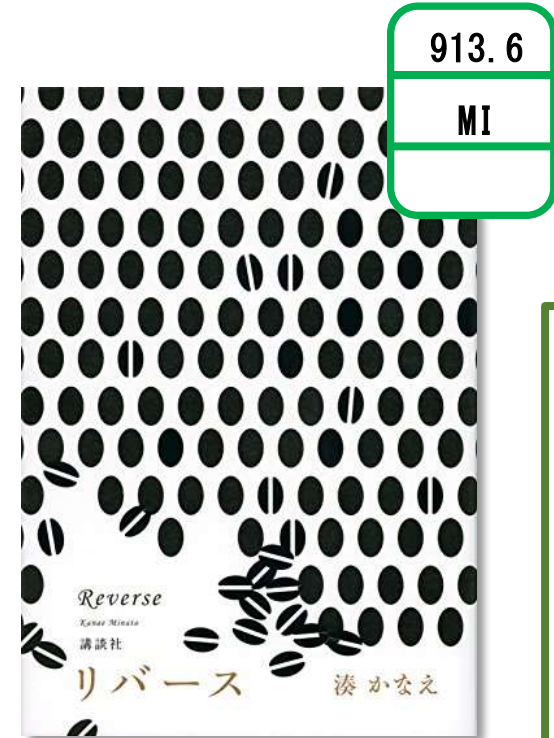


913.6  
YA

## 『可愛い世の中』

山崎ナオコーラ 著  
(講談社)

芳香剤のメーカーで働く地味な会社員、豆子は、自身の結婚式を機に、金銭感覚が人生と共に変化していくことの面白さを発見する。決して「モテ」を追求することなく、社会人としての魅力をアップしていきたい。退職して、「香りのビジネス」を友人と起こそうと画策する。香水に、セクシーではなく、経済力という魅力を！  
(「BOOK」データベースより)



913.6  
MI

## 『リバース』

湊 かなえ 著  
(講談社)

深瀬和久は平凡を絵に描いたようなサラリーマンで、趣味らしいことといえばコーヒーを飲むことだった。その縁で、越智美穂子という彼女もできてようやく自分の人生にも彩りが添えられる。と思った矢先、謎の告発文が彼女に送りつけられた。そこにはたった一行、『深瀬和久は人殺しだ』と書かれていた。深瀬を問い詰める美穂子。深瀬は懊悩する。ついに“あのこと”を話す時がきてしまったのか、と。  
(「BOOK」データベースより)



159  
GO

## 『あっ！ 命の授業』

ゴルゴ松本 著  
(廣済堂出版)

言霊の国に生まれたあなたに贈る、もっともっと楽しく生きるためのヒント！心を変える言葉の授業、待望の書籍化！  
(「BOOK」データベースより)



911.307  
MA

## 『芸人と俳人』

又吉 直樹・堀本 裕樹 著  
(集英社)

作家としても注目を集める芸人が、気鋭の俳人に弟子入り。ひそやかな2年の学びを経て、果たして俳句の上達ぶりやいかに…？ピース又吉(35歳)、初めての俳句入門。書き下ろしエッセイや実作俳句20句を収録！  
(「BOOK」データベースより)

